

いよぎんで保険

＼いつもの銀行で、保険の相談／

いよぎんで、保険。

ぎんほ

ご相談ご予約受付中

生命保険や医療保険などの加入内容のご確認や保険の見直しについて、
無料でご相談をお受けいたします。

出産 結婚
マイホーム購入

詳しくは、こちらへ

伊予銀行

長期間使用しているエレベーターは
リニューアルしたほうがよいの？

エレベーターには寿命があります。早めの対応が◎！
ご予算・ご要望に応じたプランをご提案します！

創業45年 エレベーターの保守・改修工事
愛媛メンテナンス株式会社

感動を、けずりだそう。

マルトモ

プレミアムなかつお節といえば「フレ節。」です。

住居 799-3192 愛媛県伊予市米湊1696番地 TEL https://www.marutomoto.co.jp

阿ることなく・恐れることなく

週刊 愛媛経済レポート

1973年創刊

2026年(令和8年)6月29日号 第2500号

四国中央の保育園経営者 一時保育で夫婦の時間を

＝費用は会社が負担、コミュニケーション増やし家庭円満に＝



員に對し、
の子ども
月々3歳
は、4カ
導入企業
提案する。
制度」を
希望する。

「地域で子育てを支える仕組みをつくり、人口流出の抑制につなげたい」としている。

今年5月に松村さんが設立した(一社)育児福利厚生協会が運営を担う。

今後、飲食店やジム、美容室など夫婦の日に過ごす提携店を募る。送迎はないため、四国中央市内の川之江地区での利用を想定。他の地区や他市への展開を見据え、加盟を希望する保育園を募集する。

仕組みを構築した。
因」と考え、企業が福利厚生として子育て支援に参画する

100家族を目指す。
7～9月は試験期間として無料で実施。10月から本格運用を始める。1日の預かり人数は最大5人。導入企業30社

松村さんは多くの子育て世代と関わる中で、「夫婦間のコミュニケーション不足と子育ての孤立感が関係悪化の原因」として子育て支援に参画する

料金は子ども1人当たり月額1万円。費用は企業が負担することで、子育てに関する社員の孤立感の低減を狙う。企業側は離職防止や新規採用につなげられる。

福利厚生の実現

ひまわりハッピー保育園(四国中央市金生町)を運営する松村英典さんは、企業向けに福利厚生として活用できる子育て支援サービスを始める。乳幼児がいる社員を対象に会社負担の一時預かり保育を実施し、夫婦で過ごす時間の確保を後押し。二人のすれ違いによる家庭環境の悪化が仕事にも影響すると考えた。他園への水平展開も構想する。

学生向けの企業紹介WEBサイト



愛媛シゴト図鑑



探訪
柳瀬興業舎赤レンガ壁
保存市民有志の会



赤煉瓦製した「赤煉瓦Tシャツ」も市長に贈呈した。

今治綿業の始祖、矢野七三郎が興した「柳瀬興業舎」の赤煉瓦壁の保存・再建を巡り、「柳瀬興業舎赤レンガ壁」保存を希望する市民有志の会は6月2日、今治市役所で徳永繁樹市長と面談し、5千筆を超える署名簿と陳情書を提出した。空襲を免れて残った史跡を観光資源や郷土史教育に生かすため、官民連携による壁の再建支援を求めた。面談では保存活動の象徴として作製した「赤煉瓦Tシャツ」も市長に贈呈した。

瓦壁は今治近代産業の礎となった綿ネル工場の一部で、三度の激しい空襲を唯一くぐり抜けた「奇跡の壁」とされていたが昨年、解体された。有志の会は昨秋、市に歴史遺跡として保存を要望。市から「内容を精査し対応を検討する」との回答を得た。その後署名活動を経て、綿ネル工業の後継産業に当たる今治タオル工業組合が保存主体となり、組合内に委員会を設けるなど再建が検討されてきた。

現時点では壁の一部をモニユメントとして再生する計画があり、テクスポート今治などが候補地に挙げられている。有志の会は「壁は平和の象徴で、市の観光資源ともなり、また郷土の歴史教育にも役立つ。市行政においてもこのことを再評価し、壁の再建に取り組んでいただければ」とコメント。今後も市民の声を集約し、行政に届けていく方針だ。

社長の★Birthday

- 酒井潤一郎さん(酒六株)、昭和34年6月22日
- 上田文章さん(勇都ワークス株)、昭和42年6月22日
- 横田知明さん(愛媛トヨタ自動車株・愛媛トヨペット株)、株トヨタレンタリース西四国、昭和53年6月22日
- 今村高暢さん(愛媛医療生協)、昭和39年6月23日
- 芳山和秀さん(株柳産業)、昭和59年6月23日
- 木戸敬彰さん(住友重機械ハイマテックス株)、昭和40年6月25日
- 佐野富士夫さん(株三真)、昭和30年6月26日
- 赤岡泰光さん(フジワラ化学株)、昭和43年6月26日
- 岡本康利さん(岡本化成株)、昭和48年6月26日

2026年版会社年鑑より一部掲載

思わず行きたくなる! ひと
うわさの女



nail & care SOIL
浅井 真由美さん



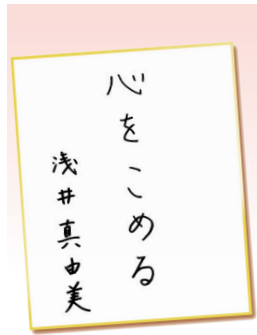
所在地:松山市余戸南
営業時間:9時半~16時
定休日:日・祝
*メニューなど詳細はインスタグラム参照。予約は公式LINEで受け付ける。



ネイリストとして3年前から活動する浅井さん。自宅をサロンにし、ジェルネイルや爪のケアなどのサービスを手掛ける。一人ひとりに合ったネイルを提案しており、リピーターが多い。また福祉ネイリストの資格も所有。そのきっかけとなったのが、浅井さんの祖母が施設でネイルをしてもらい、とても幸せそうな姿を見たことだったという。「ネイルには施術を受けた

本人だけでなく、まわりの人にも安心や癒しを与えてくれる力があると感じました」。

福祉ネイルは、施設や個人宅に訪問するスタイル。高齢者の



その日の体調に合わせた施術を行う。「爪をきれいにするだけでなく、会話などを通じて心のケアにもつながります」と話す。専門学校での講義の仕事依頼もあるという浅井さん。「福祉ネイルはさまざまな可能性がある。どう役に立てるか模索していきたい」と意気込む。

地域活動にも取り組んでおり、「皆さんと関わる時間が楽しいです」と笑顔を見せる。